

フロリダ大学における E-learning E-Learning at University of Florida

伊藤良栄 田口寛

Ryoei ITO, Hiroshi TAGUCHI

1. はじめに

筆者らは幸運にも、平成 16 年度「海外先進教育研究実践支援プログラム」事業に採択され、E-learning について先進的な取り組みがなされているフロリダ大学の事例について調査する機会を得た。主として聞き取りによりフロリダ大学における E-learning 導入の経緯と実態について調査を行った。

2. フロリダ大学について

フロリダ大学(以下、UF)は 1853 年に創立されたフロリダ州で最も歴史のある州立大学であり、メインキャンパスは北中部のゲインズビル(Gainesville)市に位置する。学生数が全米第 4 位の約 48,000 人、教員数が約 4,000 人であり、農学部をはじめ 16 の学部と 5 つの Professional school からなる大規模な大学である。

3. E-learning 導入の経緯

UF では現在でも授業の 80%が対面形式で行われているが、経済学部では受講生が 1,820 人という大人数の授業もあり、キャンパス内にこれだけの人数を収容する教室の確保が困難である。また農学部などでは、州内のサテライトキャンパスで社会人を対象とした遠隔授業を行われていたが、試験はゲインズビルのキャンパスで行わざるを得ないなどの問題があった。さらに、学長が大学の方針として国際化と最新テクノロジーを利用した最高の教育環境の提供を掲げたことにより、オンライン授業などの E-learning システムが導入されることとなった。

4. WebCT Vista とサポート体制

UF のオンライン授業では、WebCT 社(現在は Blackboard 社に買収され合併)の WebCT Vista が採用されている。これは、CMS(Course Management System)の一つで、現在、1,000 人の教員が 2,000 クラスをオンライン化済みで、のべ 32,000 人の学生に利用されている。WebCT をはじめとする各種オンラインサービスは、GatorLink と呼ばれる学内フロリダ大学のキャンパス LAN で提供されており、すべてのサービスが同一 ID、パスワードで管理されている。図 1 は UF キャンパス内で無線 LAN 利用可能なエリアを示したものである。



図 1 学内無線 LAN 利用可能エリア

Fig. 1 Wireless Coverage

UF における E-learning システムは、情報担当副学長配下の Office of Academic Technology(以下、AT)が中心となり、教職員および学生に対して、ハードおよびソフトを

含めたインフラ整備、講習会等による技術サポートなどを行っている。ATは、専任スタッフ70数名、パートタイム約400名を有するかなり大きな組織であり、図2にその構成を示す。今回我々のホストをお願いしたFedro S. Zazueta教授はATのDirectorである。ATでは、WebCTも含めたコンピュータのこと(ハード・ソフト)で困った学生対応用の窓口をHelp Deskに一本化し、相談しやすい環境をつくっている。

ほとんどの講義室に液晶プロジェクタ、PC、DVDおよびビデオプレイヤーが備えてあり、教師は授業コンテンツを納めたCD-ROMやメモリスティックを持参するだけですぐに授業を開始できる。また、一部の教室には液晶タッチパネルが用意され、簡単にWebCTなどのアプリケーションを利用可能である。(写真1)

WebCT用のコンテンツ作成など教員へのサポートは、CITT(Center for Instructional Technology and Training)が担当している。CITTには、Instruction Designer 4名、パートタイム7名が所属し、デジタルビデオ、スキャナ、動画編集ソフトなどを用意している。講習会の受講は無料であるが、授業用コンテンツ開発を依頼する場合は時間あたり\$24の費用がかかる。特に、Web Implementation Center (WIC)にはPHP、FlashなどのスペシャリストやWebデザインの専門家が揃っており、フレックスタイム制でWebCT用など教育用のWebコンテンツ開発を請け負っている。また、各国の衛星放送受信、ビデオのストリーミング、ビデオ会議等各種メディアのサービスも実施している。(図3)

5.まとめ

UFではWebCTを用いたオンライン授業などの導入が進み、利用者も急激に増加しているが、これはATを中心とした強力なサポート体制によるものであり、E-learning普及における人的サポートシステムの重要性が認識された。



図2 ATの組織図

Fig. 2 Structure of AT

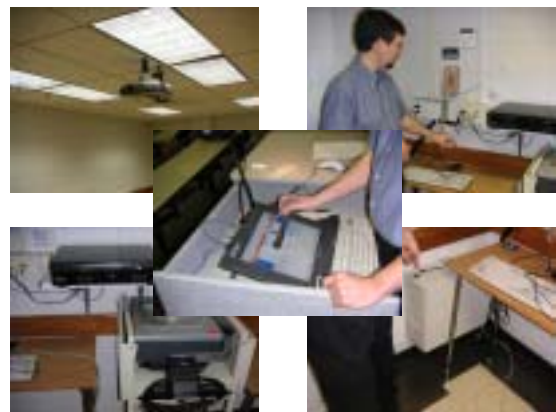


写真1 講義室の様子

Photo 1 Classroom in UF

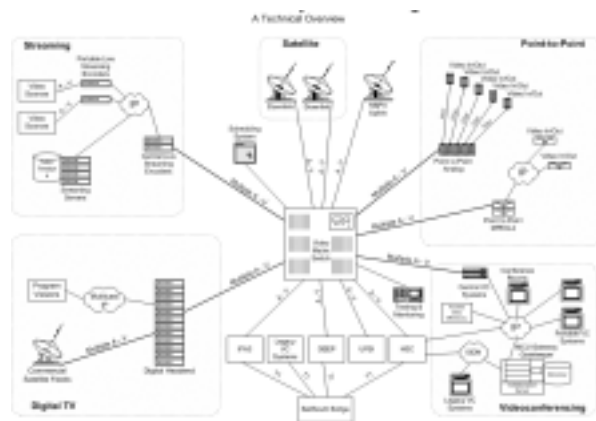


図3 各種メディアサービス

Fig. 3 Rich Media Transport and Services